

平成30年度まちづくりネットモニター第1回調査結果
テーマ「郡山市の災害対策について」

郡山市では、近年の大規模化・複雑化する災害に対し、避難情報等をはじめとする災害情報の発信と、それらの情報をもとに住民自らが各種防災行動を起こし、減災につなげる自助・共助による取り組みを推進しております。つきましては、今後の災害対策の参考とするため、市民の皆様のご意識とご意見を伺い、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

(防災危機管理課)

調査概要

○調査期間	平成30年6月4日(月)～6月13日(水)(10日間)
○回答方法	専用ウェブサイトから回答を送信する。
○モニター数	340名 (男性 148名 女性 192名)
○回答者数	313名 (男性 138名 女性 175名)
○回答率	92.1%

【結果概要】

各種災害情報等について、ウェブサイト、メール、SNS等多様な手段で情報発信を行っている中、市民の災害情報等への意識の高まりや収集手段の多様化が進んでいることが伺える。

また、「避難指示」が発令された場合、7割以上が「避難する」と答えた一方、昨年10月の台風第21号の「避難指示」に対し「過去の経験」や「雨の状況」等自己判断により4割の方が避難しなかったことがわかった。

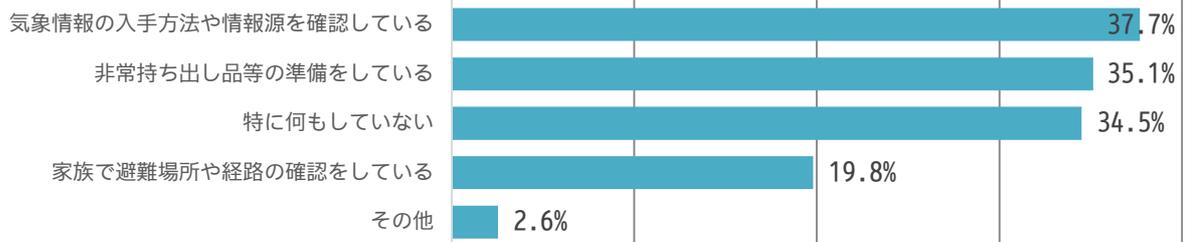
【ポイント】

- ・災害の事前準備として「気象情報の入手方法・情報源の確認」を行っている(37.7%)
- ・災害情報等を収集する手段として「テレビ」に対し、「ウェブサイト」・「SNS」・「メール」の合計が高い(69.1%)
- ・「避難指示(緊急)」発令時の行動について「避難する」と回答(72.5%)
- ・昨年10月の台風第21号時に「避難しなかった」方(44.7%)
- ・避難しなかった理由「雨が止んでいた」・「過去の経験から判断」

問1 あなたは、災害に備えて、何か事前の準備をしていますか？【複数選択可】

選択肢	回答数
気象情報の入手方法や情報源を確認している	118人
非常持ち出し品等の準備をしている	110人
特に何もしていない	108人
家族で避難場所や経路の確認をしている	62人
その他	8人
計	406人

「気象情報の入手方法や情報源を確認している」が37.7%と最も多く、次いで「非常持ち出し品等の準備をしている」が35.1%となっています。



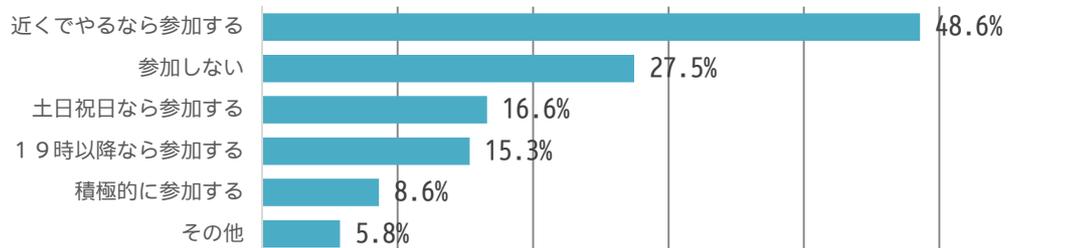
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・家具等の固定を行っている。
- ・食料や水を備蓄している。

問2 地域（町内会単位等）で災害に関する勉強会（ワーキンググループ）等が開催されるとしたら参加しますか？【複数選択可】

選択肢	回答数
近くでやるなら参加する	152人
参加しない	86人
土日祝日なら参加する	52人
19時以降なら参加する	48人
積極的に参加する	27人
その他	18人
計	383人

「近くでやるなら参加する」が48.6%と最も多く、次いで「参加しない」が27.5%となっています。



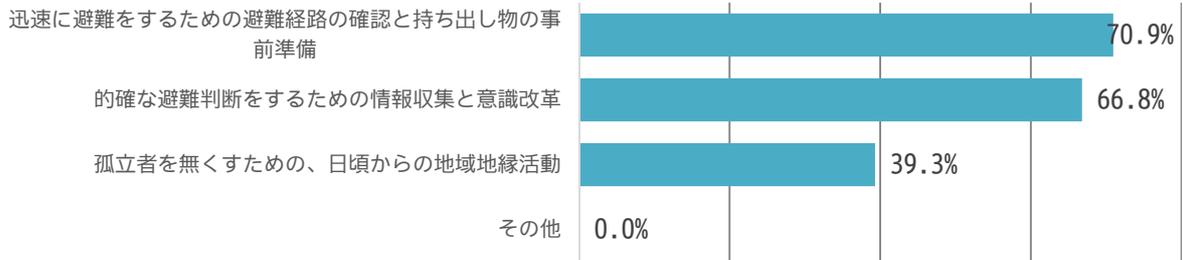
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・子どもも一緒に参加できるものであれば参加する。
- ・有意義そうな内容なら参加する。
- ・複数の開催日の中から選べるなら参加する。

問3 住民自らが取り組むべき災害対策は何だと思えますか？【複数回答可】

選択肢	回答数
迅速に避難をするための避難経路の確認と持ち出し物の事前準備	222人
的確な避難判断をするための情報収集と意識改革	209人
孤立者を無くすための、日頃からの地域地縁活動	123人
その他	0人
計	554人

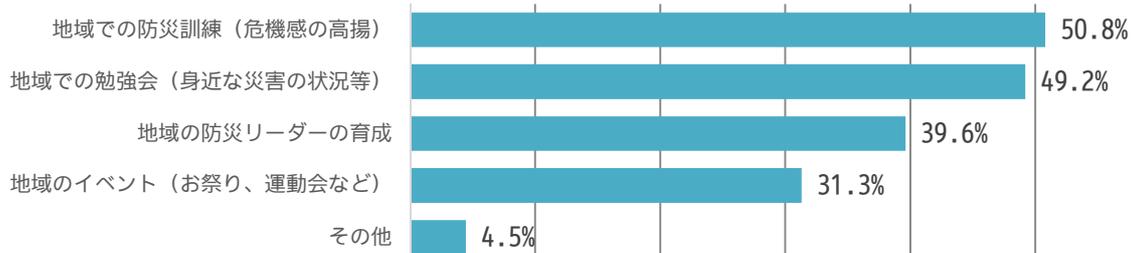
「迅速に避難をするための避難経路の確認と持ち出し物の事前準備」が70.9%と最も多く、次いで「的確な避難判断をするための情報収集と意識改革」が66.8%となっています。



問4 災害被害の軽減には、土のう積みや避難への声掛けなど、地域の協力がが必要です。地域の結束力を高めるには、何が必要だと思えますか？【複数選択可】

選択肢	回答数
地域での防災訓練（危機感の高揚）	159人
地域での勉強会（身近な災害の状況等）	154人
地域の防災リーダーの育成	124人
地域のイベント（お祭り、運動会など）	98人
その他	14人
計	549人

「地域での防災訓練（危機感の高揚）」が50.8%と最も多く、次いで「地域での勉強会（身近な災害の状況等）」が49.2%となっています。



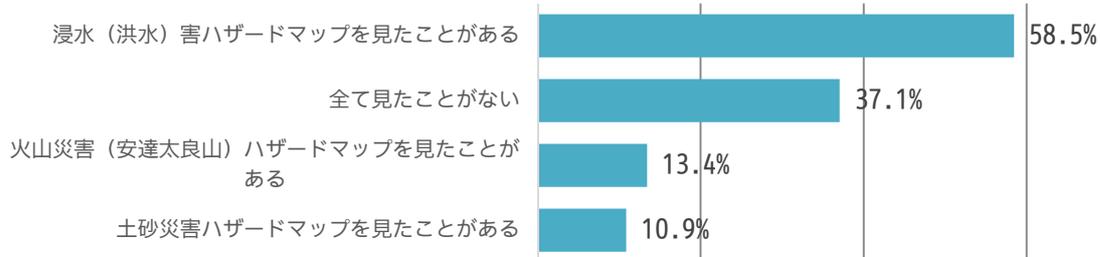
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・町内会の班や組での組織的なコミュニケーションづくり。
- ・日頃からの近所付き合いが大切だと思う。

問5 本市では、浸水（洪水）害、土砂災害、火山災害（安達太良山）のハザードマップを作成していますが、ご覧になったことはありますか？【複数回答可】

選択肢	回答数
浸水（洪水）害ハザードマップを見たことがある	183人
全て見たことがない	116人
火山災害（安達太良山）ハザードマップを見たことがある	42人
土砂災害ハザードマップを見たことがある	34人
計	375人

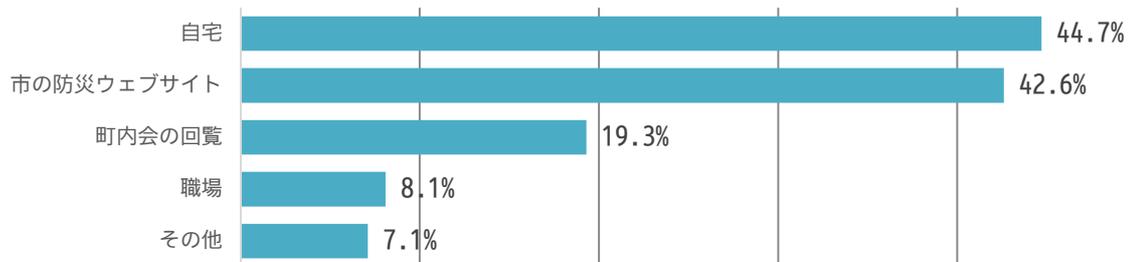
「浸水（洪水）害ハザードマップを見たことがある」が58.5%と最も多く、次いで「全て見たことがない」が37.1%となっています。



問6 問5で「見たことがある」とお答えになった方に伺います。ハザードマップはどこでご覧になりましたか？【複数回答可】

選択肢	回答数
自宅	88人
市の防災ウェブサイト	84人
町内会の回覧	38人
職場	16人
その他	14人
計	240人

「自宅」が44.7%と最も多く、次いで「市の防災ウェブサイト」が42.6%となっています。



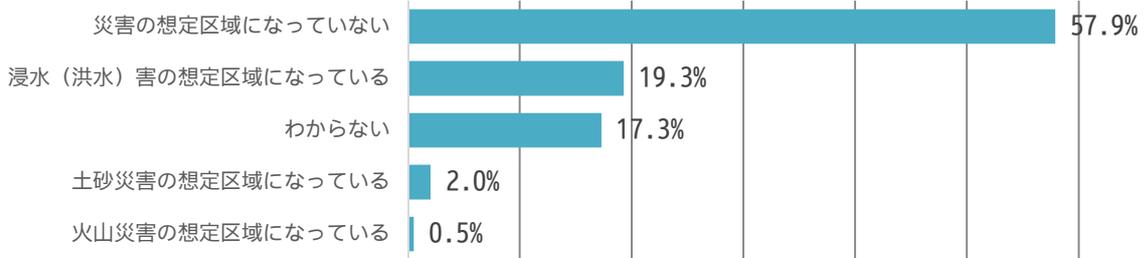
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・参加した研修会の中で見たことがある。
- ・市役所等の公共施設で見たことがある。

**問7 問5で「見たことがある」とお答えになった方に伺います。
お住まいの場所は、災害想定区域になっていますか？【複数回答可】**

選択肢	回答数
災害の想定区域になっていない	114人
浸水（洪水）害の想定区域になっている	38人
わからない	34人
土砂災害の想定区域になっている	4人
火山災害の想定区域になっている	1人
計	191人

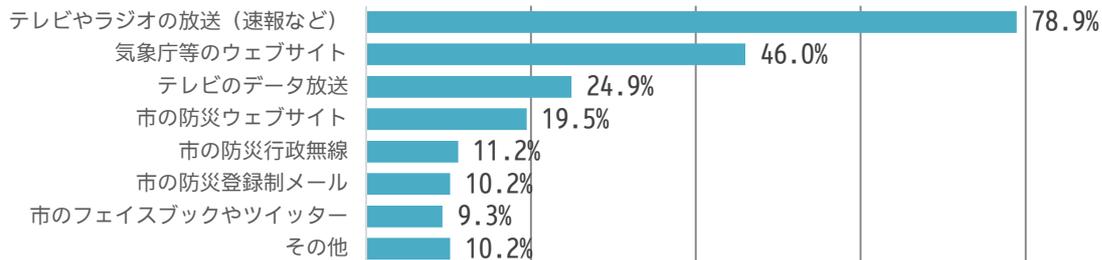
「災害の想定区域になっていない」が57.9%と最も多く、次いで「浸水（洪水）害の想定区域になっている」が19.3%となっています。



**問8 近年、気象技術の進歩により、さまざまな気象情報が発信されていますが、
あなたは、地震や大雨等に関する情報をどこから入手しますか？【複数選択可】**

選択肢	回答数
テレビやラジオの放送（速報など）	247人
気象庁等のウェブサイト	144人
テレビのデータ放送	78人
市の防災ウェブサイト	61人
市の防災行政無線	35人
市の防災登録制メール	32人
市のフェイスブックやツイッター	29人
その他	32人
計	658人

「テレビやラジオの放送（速報など）」が78.9%と最も多く、次いで「気象庁等のウェブサイト」が46.0%となっています。



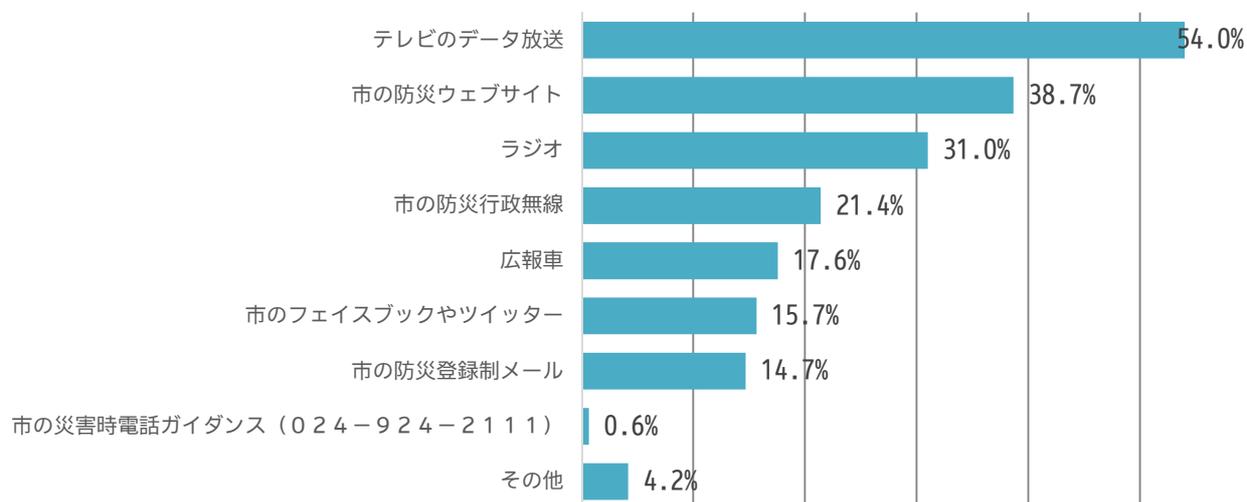
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・スマートフォンの災害情報アプリなど。

問9 あなたは、行政からの避難情報等をはじめとする災害情報をどのような方法で確認しますか？【複数回答可】

選択肢	回答数
テレビのデータ放送	169人
市の防災ウェブサイト	121人
ラジオ	97人
市の防災行政無線	67人
広報車	55人
市のフェイスブックやツイッター	49人
市の防災登録制メール	46人
市の災害時電話ガイダンス（024-924-2111）	2人
その他	13人
計	619人

「テレビのデータ放送」が54.0%と最も多く、次いで「市の防災ウェブサイト」が38.7%となっています。



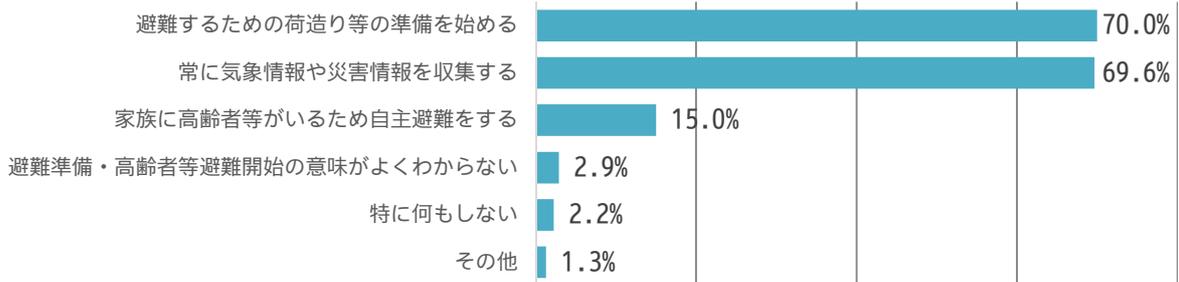
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・市以外のウェブサイト
- ・スマートフォンの災害情報アプリなど。
- ・災害情報の確認方法がわからない。（何で確認が出来るか）

問10 災害等によって、あなたの地域に「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合、どのような行動をとりますか？【複数選択可】

選択肢	回答数
避難するための荷造り等の準備を始める	219人
常に気象情報や災害情報を収集する	218人
家族に高齢者等がいるため自主避難をする	47人
避難準備・高齢者等避難開始の意味がよくわからない	9人
特に何もしない	7人
その他	4人
計	504人

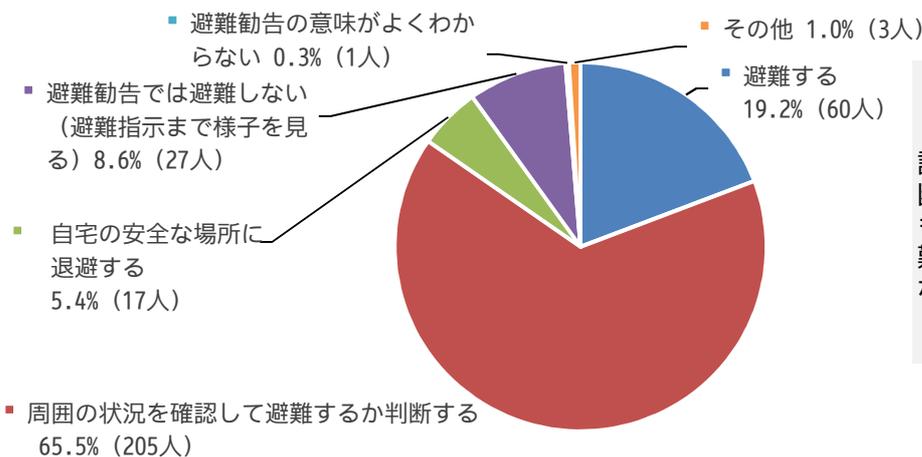
「避難するための荷造り等の準備を始める」が70.0%と最も多く、次いで「常に気象情報や災害情報を収集する」が69.6%となっています。



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・町内会役員等と連絡をとり指示を仰ぐ。

問11 災害等によって、あなたの地域に「避難勧告」が発令された場合、どのような行動をとりますか？【1つ選択】

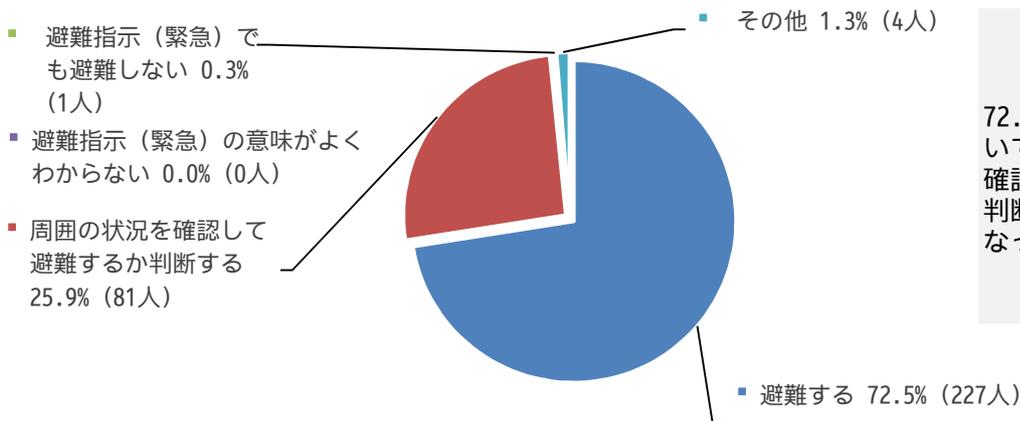


「周囲の状況を確認して避難するか判断する」が65.5%と最も多く、次いで「避難する」が19.3%となっています。

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・引き続き情報の収集を行う。
- ・避難勧告で避難するか、避難指示まで判断をのぼすか状況によると思う。

問12 問11からさらに状況が悪化し、あなたの地域に「避難指示（緊急）」が発令された場合、どのような行動をとりますか？【1つ選択】

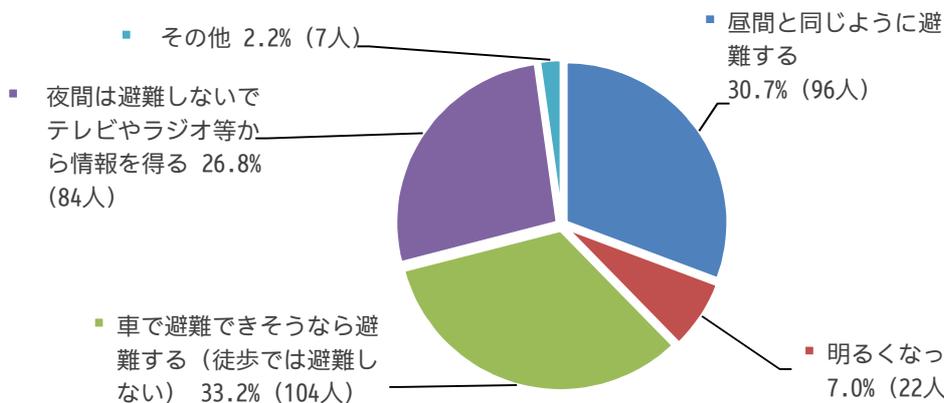


「避難する」が72.5%と最も多く、次いで「周囲の状況を確認して避難するか判断する」が25.9%となっています。

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・自治会会長をしている為町会内の状況を収集する。
- ・ペットが居るので難しい。

問13 夜間に、避難勧告等が出た場合、あなたはどのような行動をとりますか？【1つ選択】

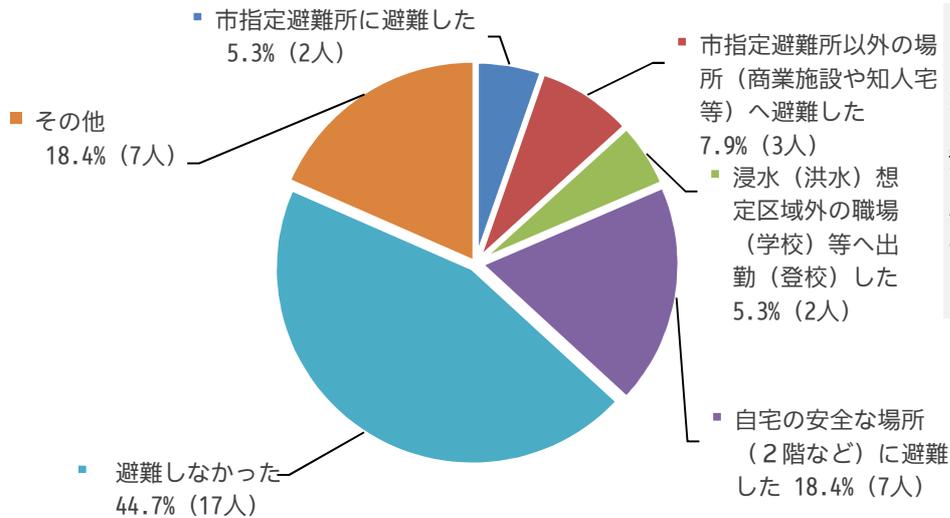


「車で避難できそうなら避難する（徒歩では避難しない）」が33.2%と最も多く、次いで「昼間と同じように避難する」が30.7%となっています。

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・早めに避難するよう務めるが状況による。
- ・情報収集を行い避難の判断をする。

問14 問7で「浸水（洪水）想定区域になっている」とお答えになった方に伺います。昨年10月の台風第21号の影響による阿武隈川の水位上昇を受け、10月23日午前9時に阿武隈川沿いの区域へ「避難指示（緊急）」を発令しましたが、あなたはどのような行動をとりましたか？【1つ選択】

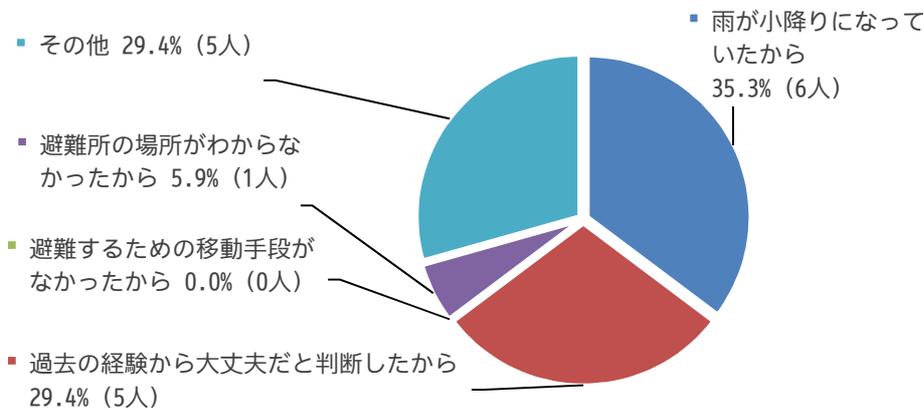


「避難しなかった」が44.7%と最も多く、次いで「自宅の安全な場所（2階など）に避難した」が18.4%となっています。

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・外出して家にいなかった。
- ・会社に出勤して仕事をしていた。

問15 問14で「避難しなかった」とお答えになった方に伺います。避難をしなかった理由は何ですか？【1つ選択】



「雨が小降りになっていたから」が35.3%と最も多く、次いで「過去の経験から大丈夫だと判断したから」が29.4%となっています。

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・阿武隈川から遠くて影響がない地域と判断したため。
- ・周辺に浸水の被害が見られなかったから。

問16 住民の方が迅速な避難をするためには、日頃からの意識づけが重要です。災害に対して常に危機感を維持していくためには、何が重要だと思いますか？
(自由記述)

※主な意見

- ・常に町内会はもとより近隣住民との危機意識を高める事が重要である。
- ・非常持ち出し袋の準備、避難場所の確認、地域の高齢者・障害者の把握、地域での意識合わせ。
- ・目につくところにハザードマップを貼ったり、定期的なメールなどの配信
- ・広報誌、防災無線、回覧板などで定期的・継続的な周知・啓蒙活動が必要だと思います。
- ・町内会などで、積極的に災害時の対処法などを学ぶ講座を開き、家族同士でも、しっかりと避難経路及び避難場所を確認することが大切であると思う。また、災害時には、正しい情報を取得し、冷静かつ正確な判断が必要だと思う。
- ・3. 11など過去の災害記録などを見返し自分自身で危機感を常に持っていること。
- ・地区住民での避難訓練。その為にも常日頃のコミュニケーション
(町内の行事参加が大事ですね)
- ・小・中学校での防災教育
- ・地域防災リーダーを育成し、その認知度を高める。
- ・行政からの指示待ちではなく、自らインターネットやSNSでの情報収集をして判断をする。
常に何が起きてもおかしくないを考える。
- ・災害情報を常に受け取る事ができるように、自らが備えをしておく事が大切だと思います。同時に災害発生時の物的な備えをしておくことも大切ではないかと思います。
- ・高齢者が増えております、定期的に自治会等からの災害危機意識の高揚活動等が必要に思います。防災放送の聞こえない地域も多いので、更に伝達方法への考慮が必要です。
- ・町(小原田とか芳賀とか)ごとに防災マップを作成、配布し、浸水することを明確に分からせる。